

白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

令和8年8月21日(金) 14:00～
市民交流センター 大会議室



白山市
HAKUSAN CITY



目次

- 1.説明会の主旨
- 2.下水道施設の概要と課題…………… 資料1参照
- 3.第1回サウンディング調査結果…………… 資料2参照
- 4.水の官民連携(ウォーターPPP)の今後の方針(素案)
 - 4.1.水の官民連携(ウォーターPPP)の対象方式(素案)
 - 4.2.水の官民連携(ウォーターPPP)の対象施設(素案)
 - 4.3.水の官民連携(ウォーターPPP)の対象業務(素案)
- 5.今後のスケジュール(素案)
- 6.第2回サウンディング調査の実施



1 説明会の主旨

- ◆水の官民連携（ウォーターPPP）の第1回サウンディング調査結果と、これを踏まえた現時点での本市における水の官民連携（ウォーターPPP）の方針（素案）等を、情報提供させていただきます。
- ◆本市の方針（素案）等を踏まえ、説明会後に第2回サウンディング調査を行い、改めて参入意向の把握や事業範囲等の検討に活用させていただきます。

留意点

- ◆本説明会及び関連資料の内容は、全て現時点の想定です（確定した情報ではありません）。
- ◆本説明会および調査等で頂いたご意見は、今後事業検討の際の参考としますが、事業内容等に反映することを保証するものではありません。
- ◆サウンディング調査は、アンケート調査のみを予定しておりますが、個別ヒアリングを実施する場合がありますので、ご協力をお願いいたします。



白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

資料1 白山市における下水道施設の概要と課題



白山市
HAKUSAN CITY



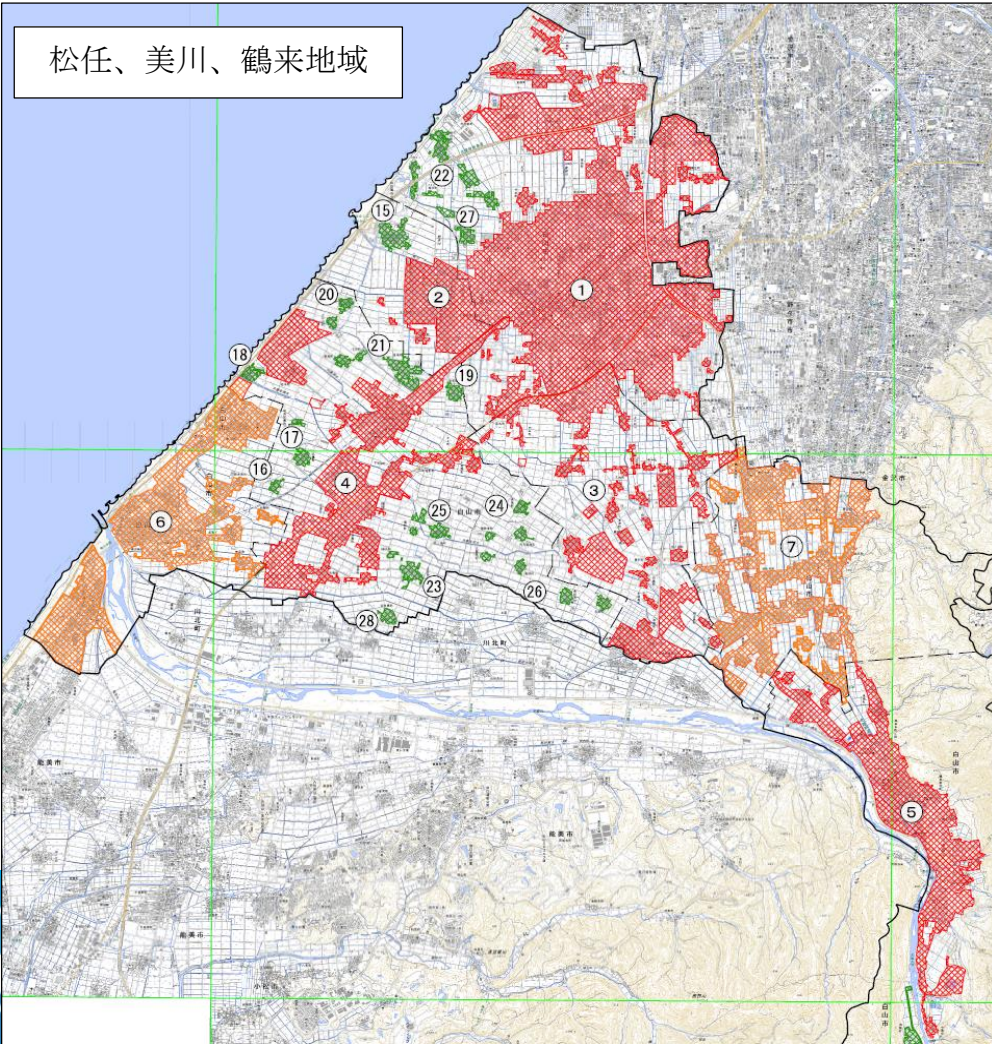
目次（資料1 白山市における下水道施設の概要と課題）

1. 下水道施設の概要
2. 下水道施設（処理場等）の老朽化状況
3. 下水道施設（管路施設）の老朽化状況
4. 下水道事業の問題
5. 下水道事業の課題



下水道施設の概要

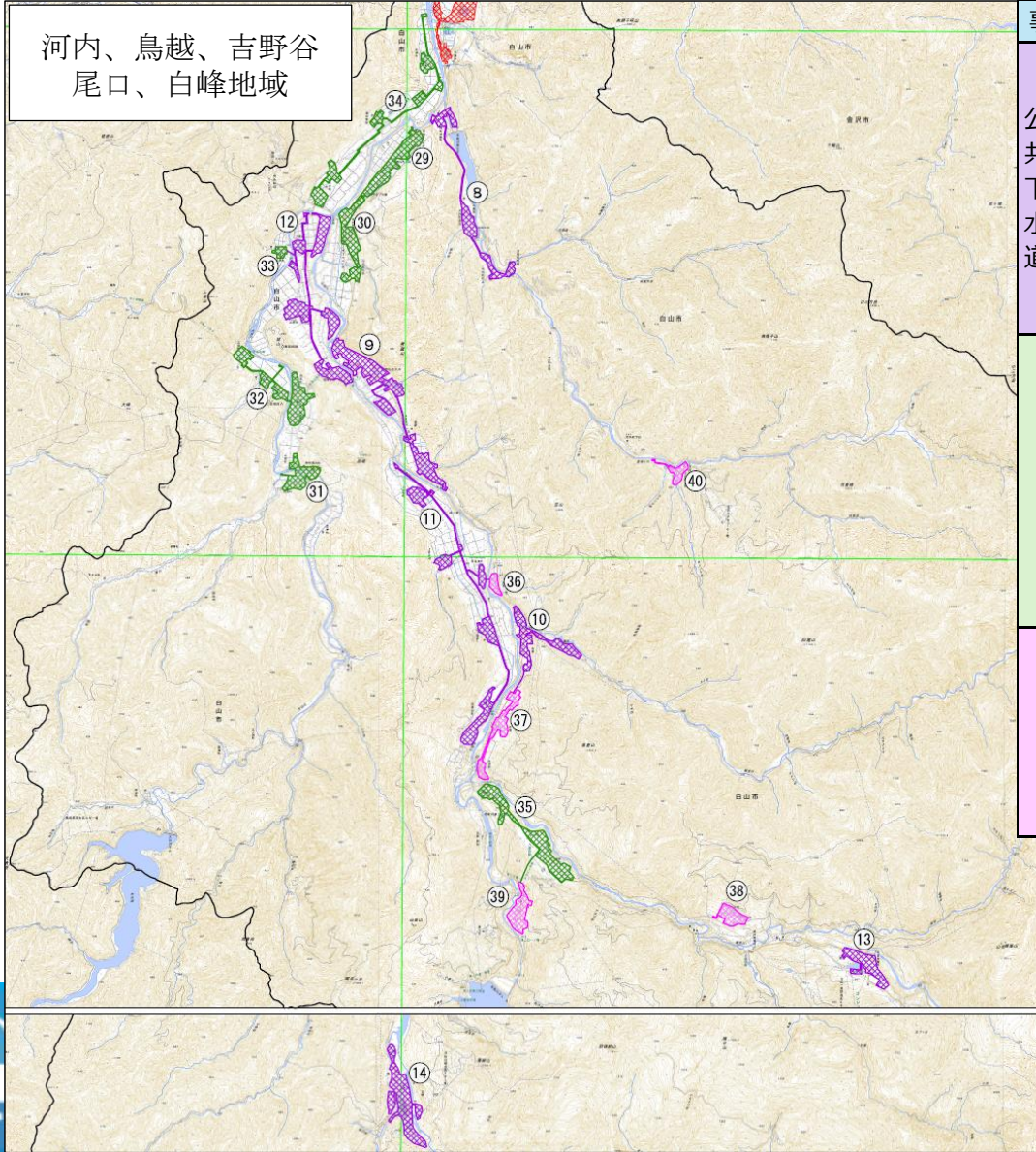
本市の下水道事業は、都市化の進展に伴う河川などの水質改善を目的に、美川地域は昭和47年、松任地域は昭和48年、鶴来地域は昭和57年に公共下水道事業に着手し、その後、地域特性に即した下水道事業を進め、現在は40処理区で下水道処理を行っています。



事業	区分	番号	処理区
公共下水道	松任中央	1	松任中央
		2	千代野
	松任南部	3	松任南部
	松任西南部	4	松任西南部
	鶴来	5	鶴来
流域関連公共	梯川	6	梯川
	犀川左岸	7	犀川左岸
農業集落排水	松任農集	15	徳光
		16	米光
		17	北島
		18	石立
		19	米永
		20	小川
		21	宮保
		22	相川新・相川
		23	上安田
		24	山島西部
		25	四ツ屋
		26	山島南部
		27	平木
		28	出合島

種別	対象施設
公共下水道	管路 521 k m 処理場 4カ所 MP場 156カ所
流域関連公共下水道	管路 191 k m ポンプ場 2カ所 MP場 50カ所
特定環境保全公共下水道	管路 52 k m 処理場 7カ所 MP場 44カ所
農業集落排水	管路 81 k m 処理場 21カ所 MP場 27カ所
地域下水道	管路 9 k m 処理場 5カ所 MP場 7カ所

下水道施設の概要



事業	区分	番号	処理区
特定環境保全 公共下水道	山ろく特環	8	直海谷
		9	吉野
		10	吉野谷中部
		11	吉原
		12	鳥越中部
		13	一里野
		14	白峰
農業集落排水	山ろく農集	29	河内
		30	河内第2
		31	大日
		32	城山
		33	若原
		34	河野
		35	尾口
地域下水	山ろくミヅラ	36	佐良
		37	木滑
		38	中宮
		39	女原
		40	内尾

種別	対象施設
公共下水道	管路 521 k m 処理場 4カ所 MP場 156カ所
流域関連公共下水道	管路 191 k m ポンプ場 2カ所 MP場 50カ所
特定環境保全公共下水道	管路 52 k m 処理場 7カ所 MP場 44カ所
農業集落排水	管路 81 k m 処理場 21カ所 MP場 27カ所
地域下水道	管路 9 k m 処理場 5カ所 MP場 7カ所

2 下水道施設(処理場等)の老朽化状況

(参考)白山市の下水処理場の老朽化状況

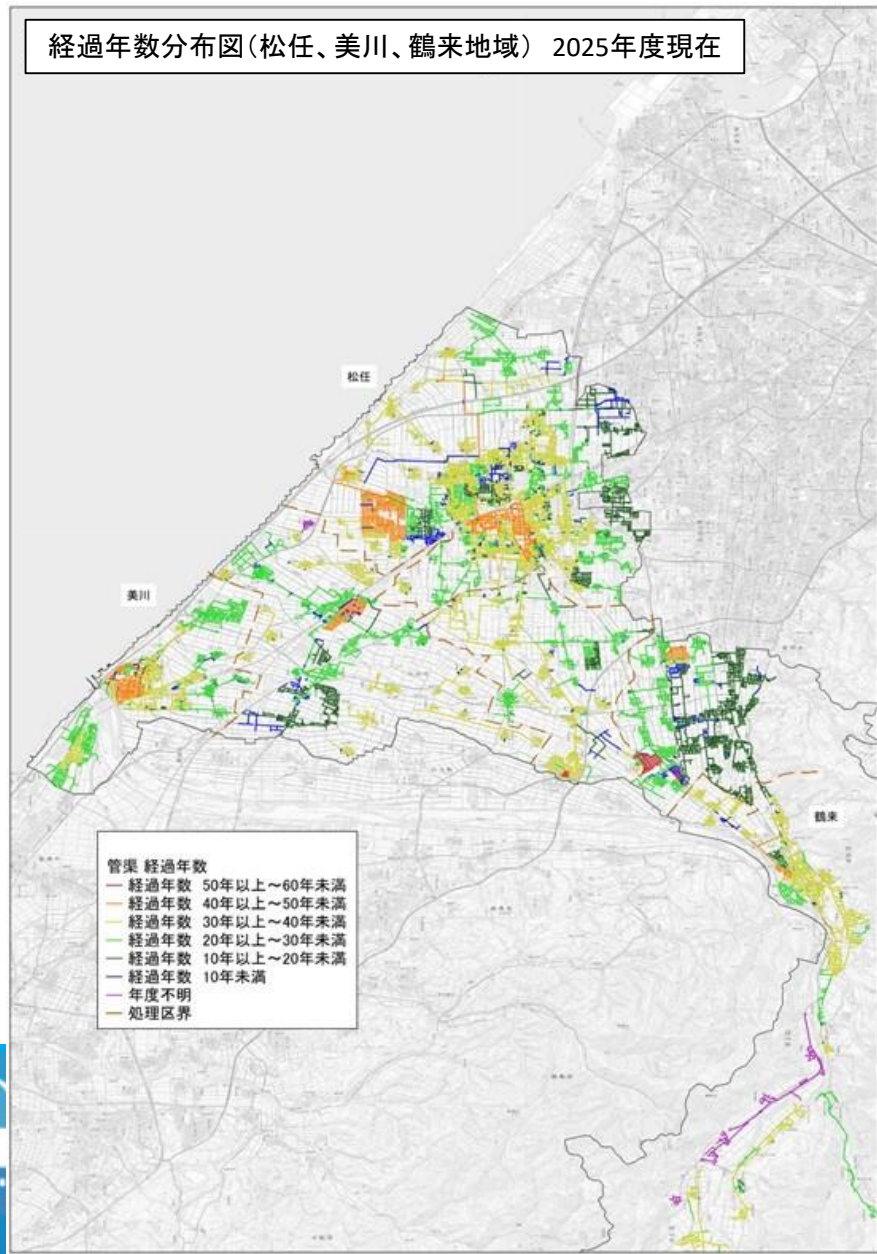


(参考)白山市のマンホールポンプの老朽化状況



3 下水道施設(管路施設)の老朽化状況

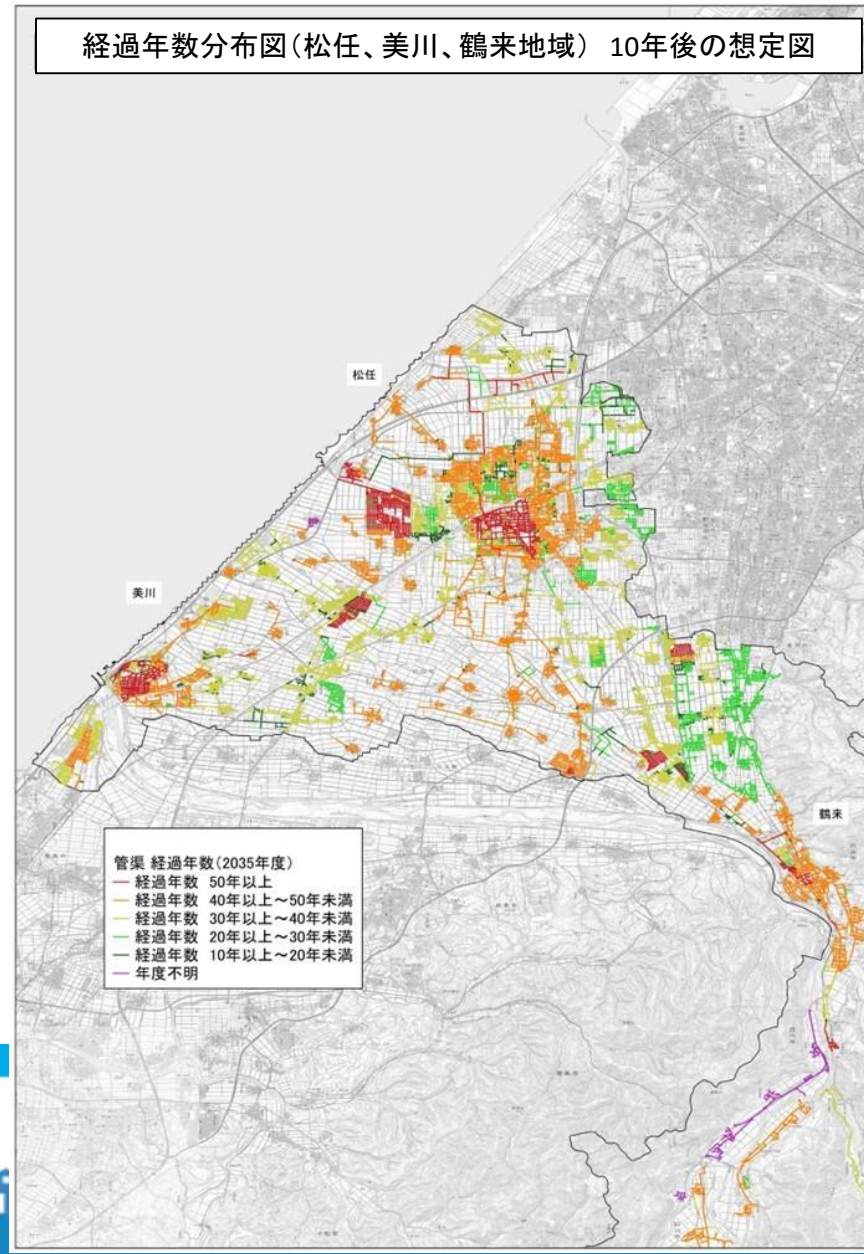
経過年数分布図(松任、美川、鶴来地域) 2025年度現在



10年後

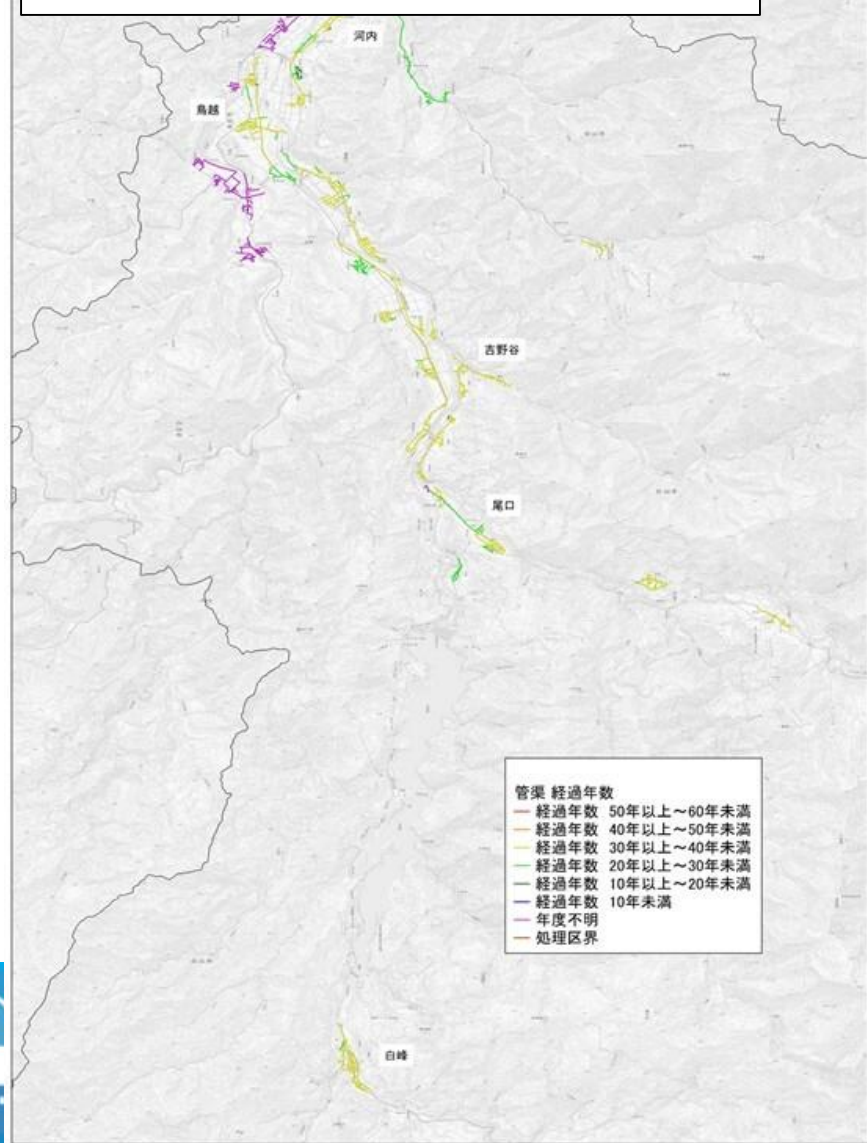


経過年数分布図(松任、美川、鶴来地域) 10年後の想定図



3 下水道施設(管路施設)の老朽化状況

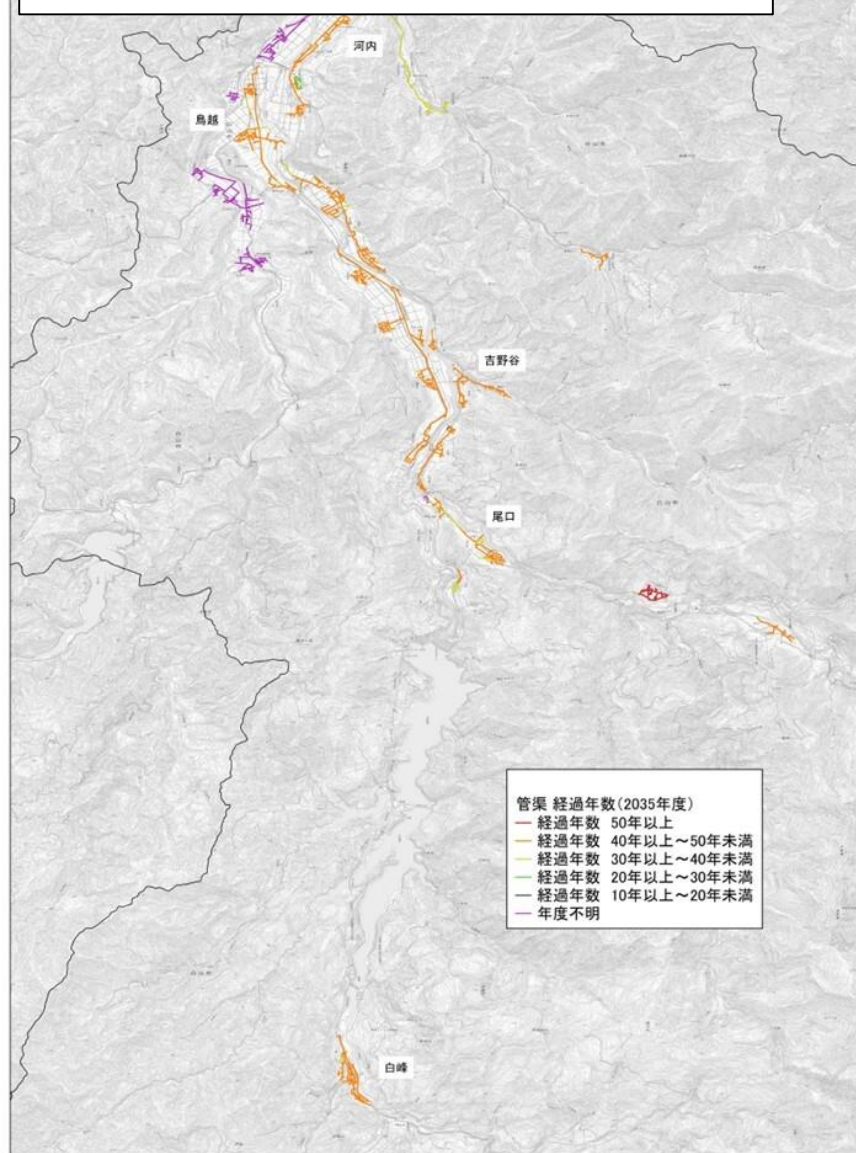
経過年数分布図(河内、鳥越、吉野谷、尾口、白峰地域)
2025年度現在



10年後



経過年数分布図(河内、鳥越、吉野谷、尾口、白峰地域)
10年後の想定図



下水道事業の問題

下水道は住民の暮らしの安心・安全の確保と豊かな水環境の保全に不可欠な存在です。
一方で、下水道が抱える問題は深刻さを増しており、適切な対応が必要となります。

ヒト



問題

技術職員の減少

技術職員の減少により、
技術力の確保・継承が困難

- ・技術者不足（高齢化・退職）による技術力の確保・継承が困難
- ・災害対応等のため、計画的更新にリソースがかけられない
- ・施設の維持管理が従来型（個別契約）で効率性が低い

課題

官民連携による効率的な
運営体制の構築

モノ



問題

施設の老朽化

施設の老朽化の進行により、
更新・修繕等の維持管理費が増加

- 《処理場・ポンプ場》
- ・老朽化による更新・修繕費の増加
- ・非耐震施設による震災リスク
- 《管路》
- ・管路未調査による破損リスク
- ・衝撃に弱い陶管や液状化による破損リスク

課題

官民連携による民間のノウハウを
活用した維持管理体制の構築

カネ



問題

使用料収入の減少

節水型機器の普及などにより、
下水道使用料等の収入が減少

- ・節水型機器の普及による下水道使用料（収入）の減少
- ・人口減少や高齢化による収入の減少
- ・人件費・資材費上昇、処理場の分散配置による高い運転コスト
- ・経常的支出に対する収入不足

課題

官民連携による計画的・効率的な
経営体制の構築



下水道事業の課題

ヒト

問題

技術職員の減少

技術職員の減少により、
技術力の確保・継承が困難

課題

官民連携による効率的な
運営体制の構築

対策

水の官民連携を導入し、包括発注による
・慢性的な**技術職員不足の補完**を検討
・限られた**技術職員リソースの適正化**を検討
(本来、優先すべき業務等へ注力可能な体制構築)



モノ

問題

施設の老朽化

施設の老朽化の進行により、
更新・修繕等の維持管理費が増加

課題

官民連携による民間のノウハウを
活用した維持管理体制の構築

対策

水の官民連携を導入し、包括発注による
・維持管理、計画、点検、設計等の民間技術や
ノウハウを活用し、**老朽化や耐震対策、
汚水処理の最適化などの推進を検討**



カネ

問題

使用料収入の減少

節水型機器の普及などにより、
下水道使用料等の収入が減少

課題

官民連携による計画的・効率的な
経営体制の構築

対策

水の官民連携を導入し、
・今後増加見込みである維持管理及び
施設整備費用等の**効率的な資金計画**を検討



方針 官民連携による民間の技術・ノウハウを最大限活用し、計画的・効率的な運営体制の構築を図るため、
新たなPPP/PFI手法「水の官民連携(ウォーターPPP)」の導入する方針として、作業を進めております。



白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

資料2 第1回サウンディング調査結果



白山市
HAKUSAN CITY



目次（資料2 第1回サウンディング調査結果）

1. 第1回サウンディング調査の概要
2. アンケート調査結果概要（要旨）
3. 個別ヒアリング結果概要（要旨）



1 第1回サウンディング調査の概要

概要

- ・ 関連する民間事業者に対して、本事業の趣旨、内容、時期等の条件を提示し、本事業に対する関心や、参入条件等のサウンディング調査を実施

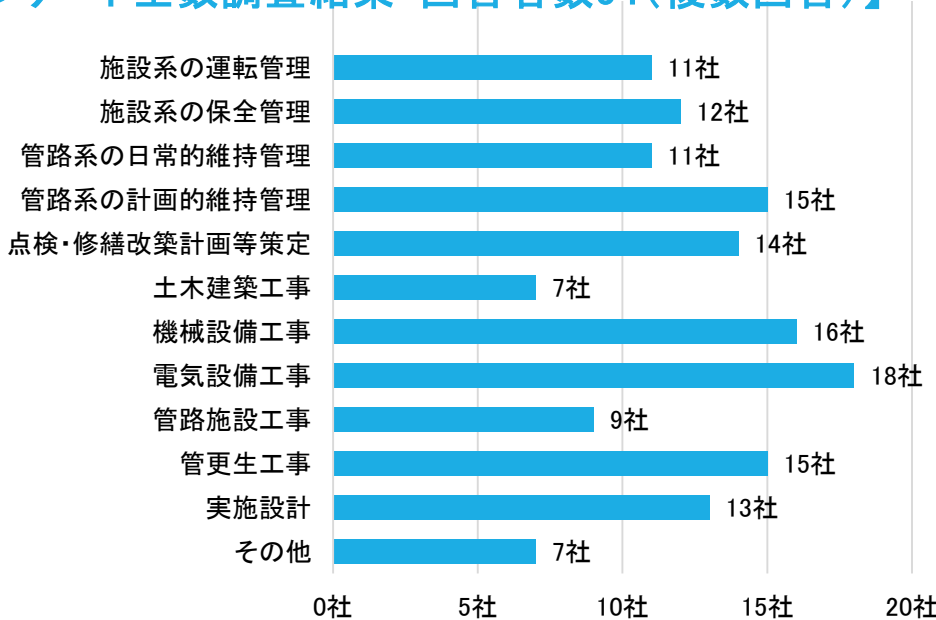
スケジュール

項目内容	日程	備考
アンケート調査実施要領の公表	令和7年12月1日（月）	
アンケートに関する質問期間	令和7年12月1日（月）～12月10日（水）	
アンケートの提出期限	令和7年12月1日（月）～12月15日（月）	参加企業数：54社
個別ヒアリングの実施	令和8年 1月8日（木）～ 1月23日（金）	参加企業数：27社（アンケート希望者で実施）
水の官民連携（ウォーターPPP）導入に係る説明会	令和8年 8月21日（金）	

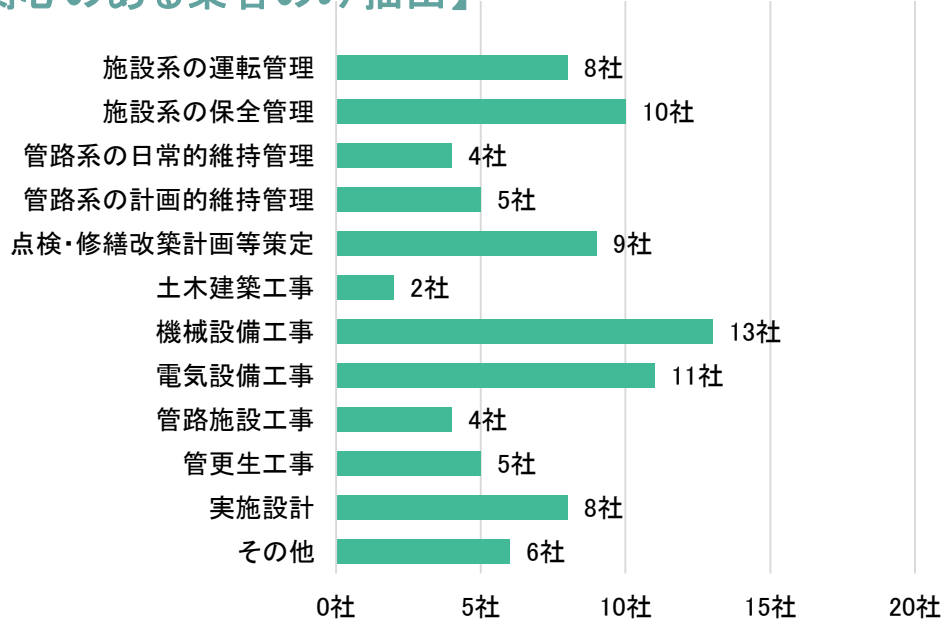


アンケート概要（1.回答者の業務分類）

【アンケート全数調査結果・回答者数54(複数回答)】



【関心のある業者のみ抽出】

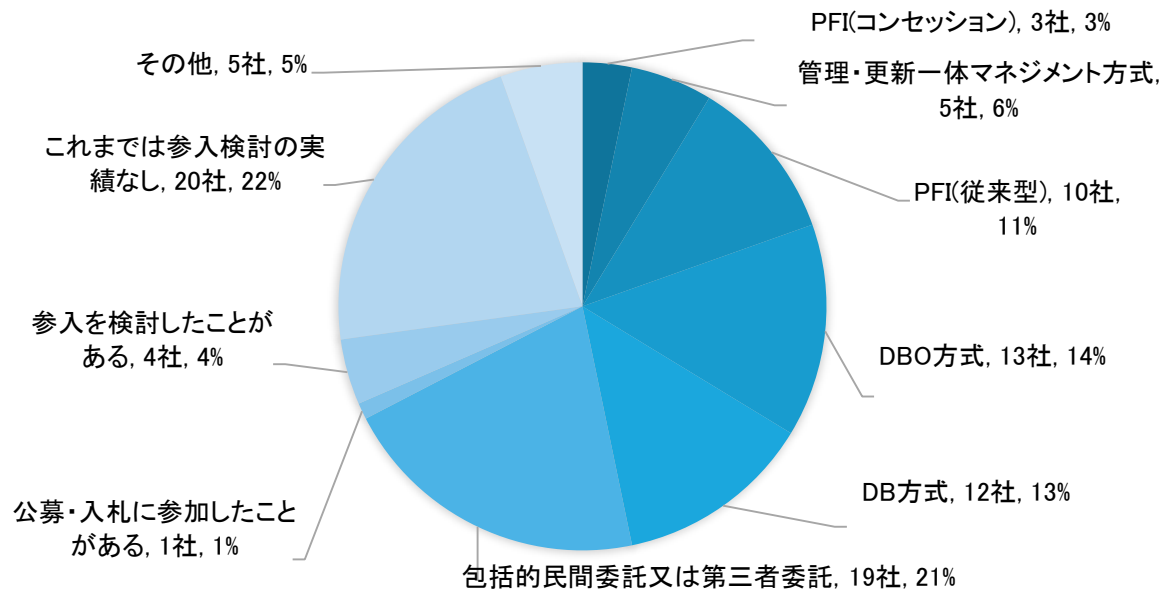


- ・ 回答者が実施している業務分野は、本市が想定する事業内容を、概ね占める結果となった。
- ・ 開削を伴う管路工事(小規模・緊急工事を除く)や建築工事は本市事業に含めないため、土木建築工事の実施企業からの回答は比較的少なかった。
- ・ 料金窓口業務を実施している企業からの回答は得られなかった。

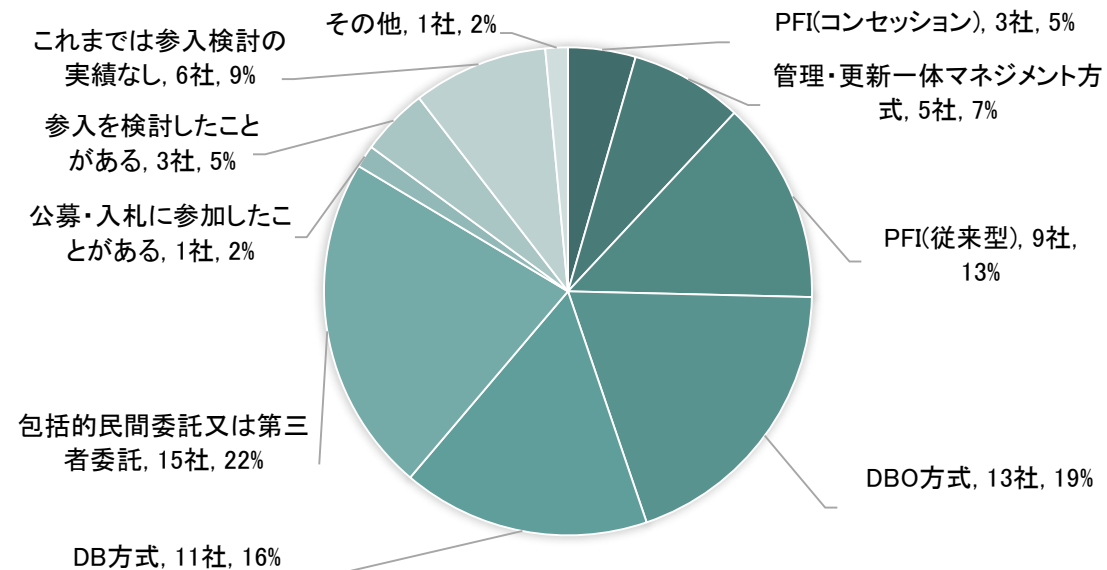
- ・ 高い関心を示したのは、施設系の運転管理、保安全管理、点検調査・修繕改築計画等の策定、機械設備工事業者、電気設備業者であった。

アンケート概要（2. 水の官民連携業務の参加実績）

【アンケート全数調査結果・回答者数54（複数回答）】



【関心のある業者のみ抽出】

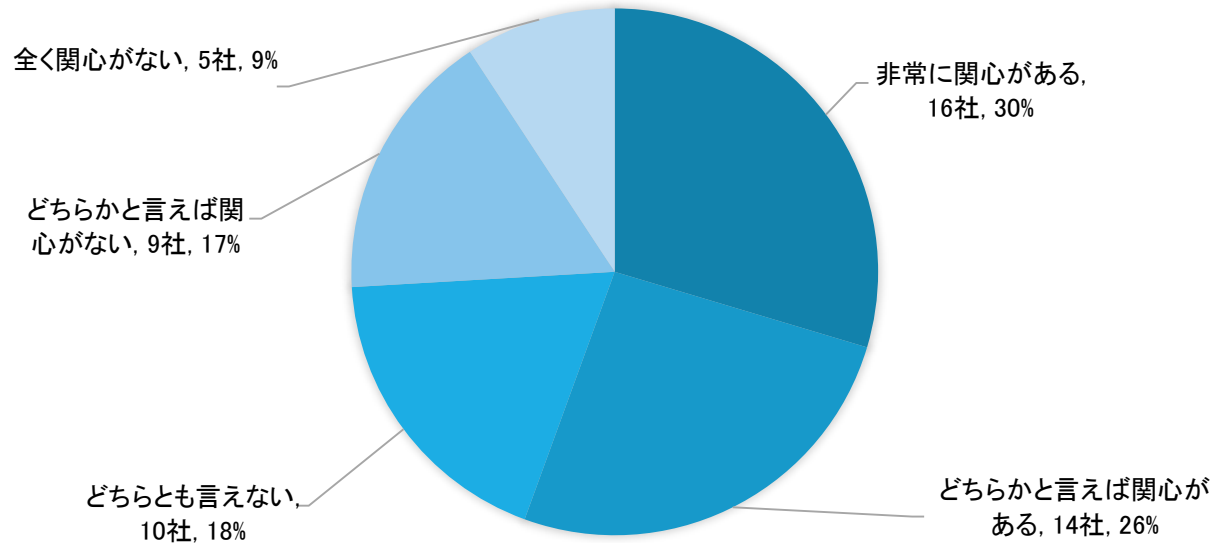


・これまで参入検討の実績のない業者は、関心が低い。

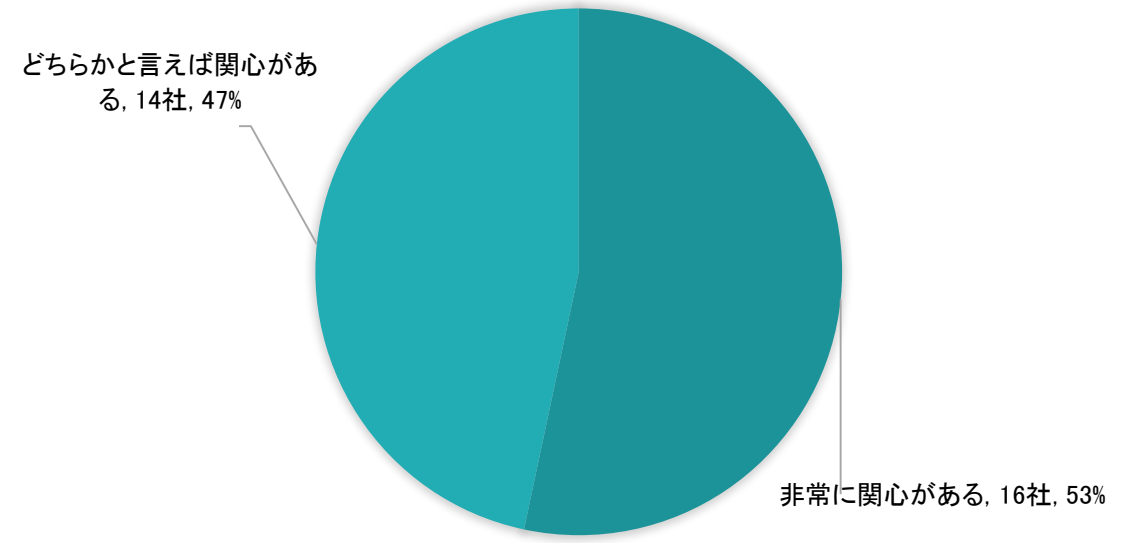
- ・本市で想定する水の官民連携の業務が、PFI方式（SPC）として3社、管理・更新一体マネジメント方式で5社の受注実績があった。
- ・その他、PFI方式（従来型）で10社、DB・DBO方式で25社、包括的民間委託等で19社、実績なしが30社であった。

アンケート概要（3.本市事業の関心度合い）

【アンケート全数調査結果・回答者数54】



【関心のある業者のみ抽出】

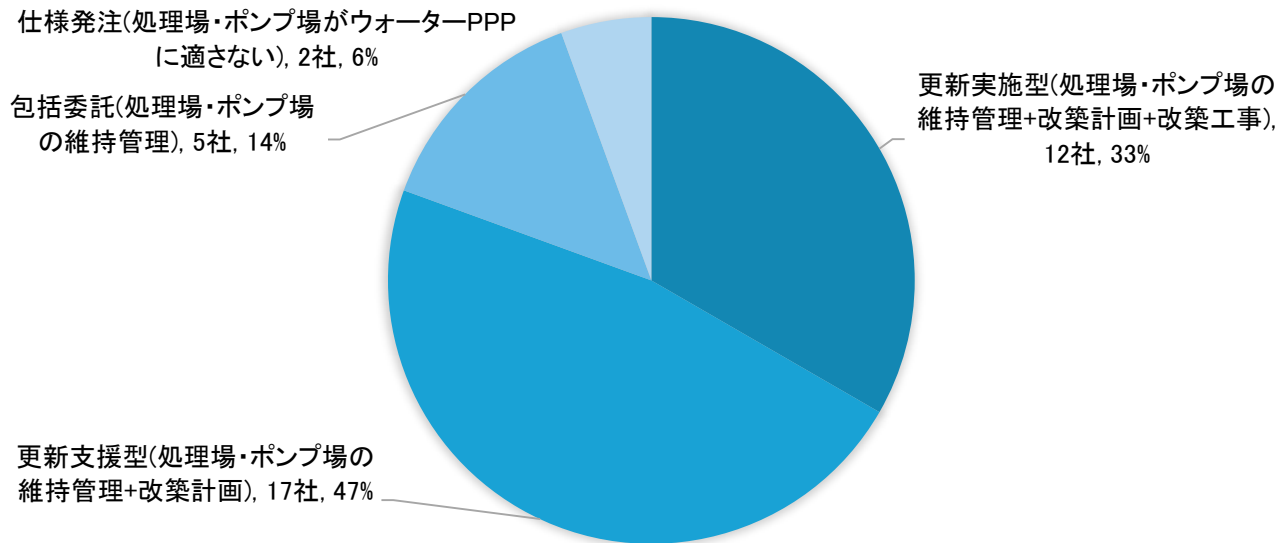


・特異な傾向なし。

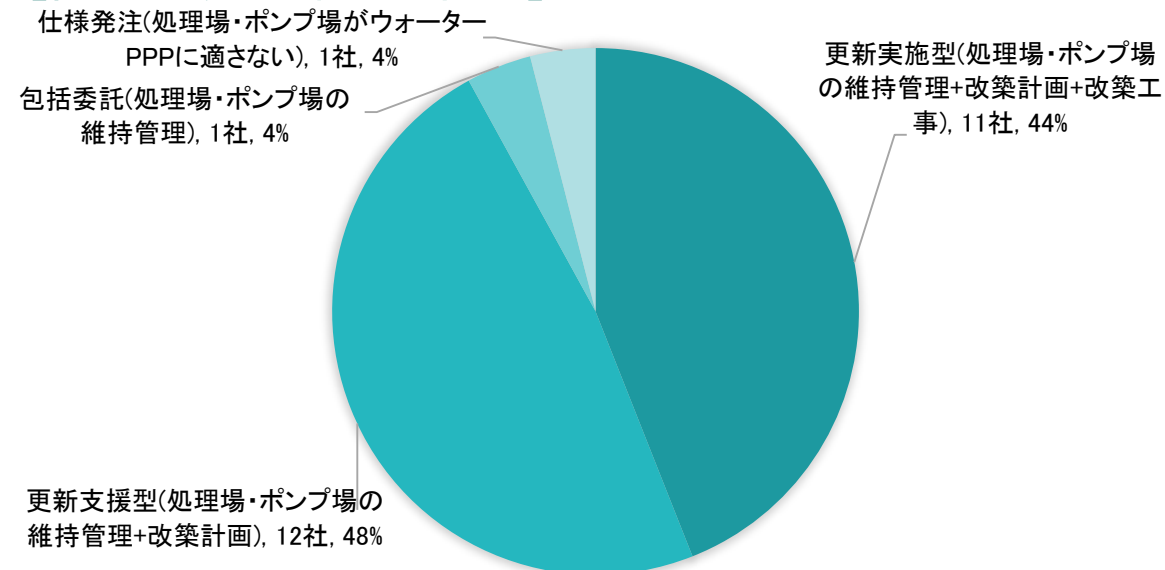
- ・本市事業への関心を示した割合は30社（56%）、関心を示さない割合は14社（26%）であった。
- ・大手機械電気設備事業者（メーカー）やコンサルタント等の関心が高く、懸念事項として、体制、物価高騰、長期契約等のリスク等が挙げられた。

アンケート概要（４．本市事業の希望対象業務（処理場））

【アンケート全数調査結果・回答者数36】



【関心のある業者のみ抽出】

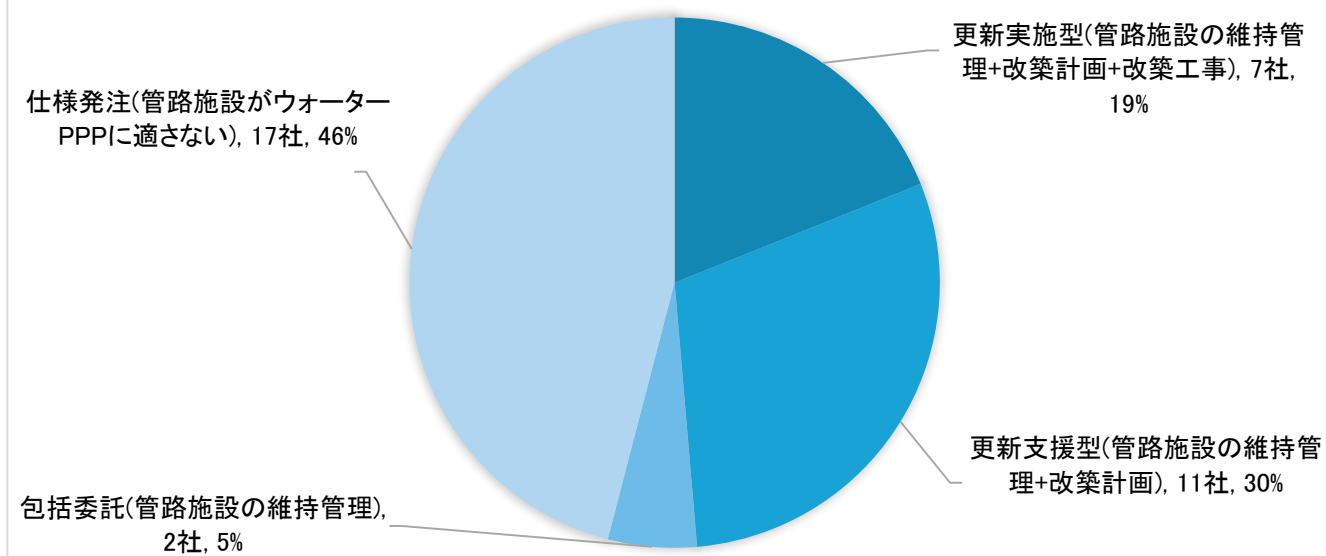


- ・本市の処理場等への導入希望について、更新実施型が12社（33%）、更新支援型が17社（47%）、包括的民間委託が5社（14%）、仕様発注が2社（6%）であり、更新支援型が最多であった。
- ・大手機械電気設備事業者（メーカー）の更新実施型の希望者が多いが、本市処理場設備の導入メーカーが異なるため、全施設を対象とした更新実施型に対し、厳しい意見も多かった。

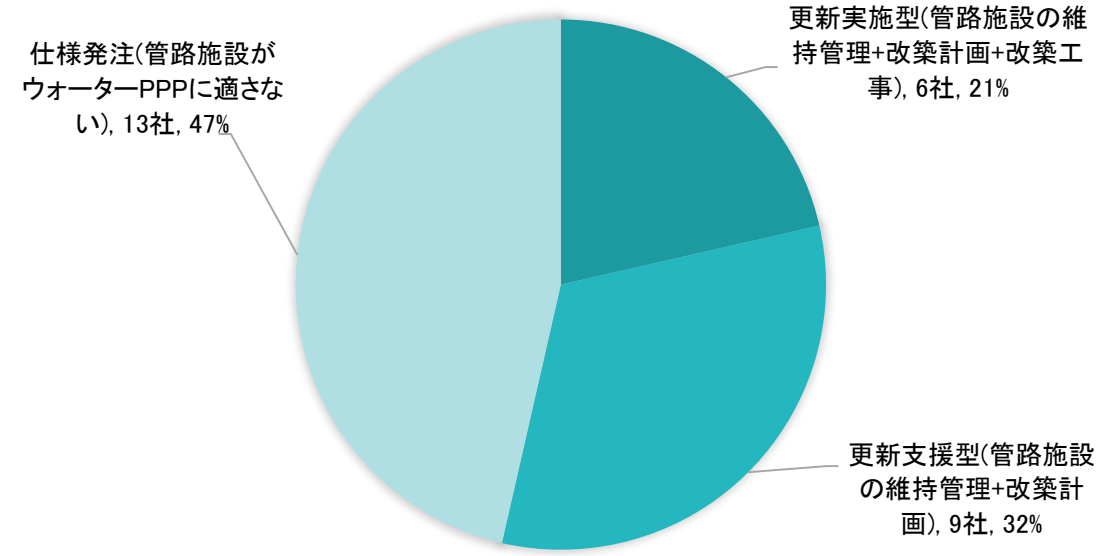
- ・更新実施型と更新支援型の希望者がほぼ同数（更新実施型希望者割合が多い）

アンケート概要（5.本市事業の希望対象業務（管路施設））

【アンケート全数調査結果・回答者数37】



【関心のある業者のみ抽出】



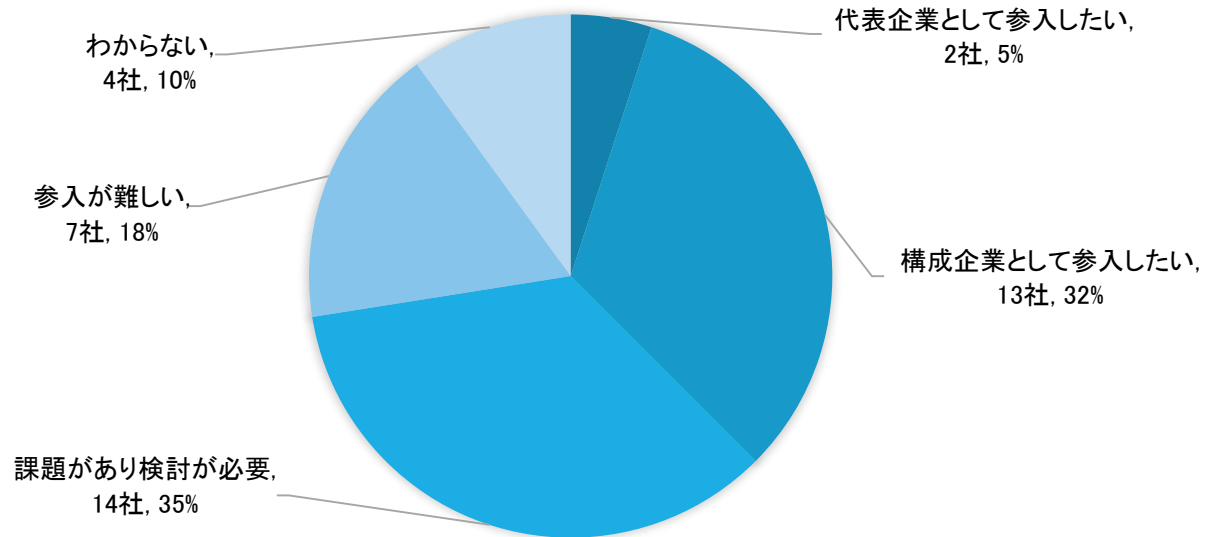
・ 特異な傾向なし。

- ・ 本市の管路施設への導入希望について、更新実施型が7社（19%）、更新支援型が11社（30%）、包括的民間委託が2社（5%）、仕様発注が17社（46%）であり、仕様発注が最多であった。
- ・ 仕様発注（現状維持）の選択理由は、管渠の老朽化が進んでおり、リスクが大きいことや、そもそも状態が見えないことから性能規定が困難とする意見が多かった。

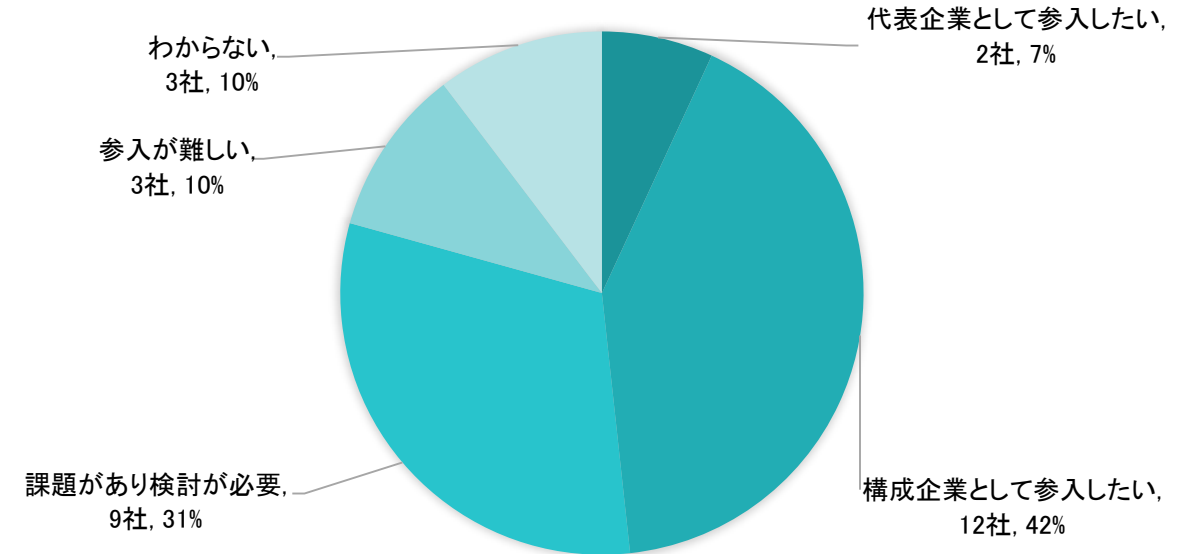
※参入について、ためらいがある業者が少なくなった。

アンケート概要（6.本市事業（SPC等）への参入希望）

【アンケート全数調査結果・回答者数40】



【関心のある業者のみ抽出】



・特異な傾向なし。

- ・本市事業への参入希望については、代表企業の希望が2社（5%）、構成企業の希望が13社（32%）、検討必要が14社（35%）であった。
- ・参入への課題として、人員の確保や事業スキームの未確定、価格高騰を見据えた価格設定、リスク分担の適切な設定等の課題が挙げられた。

アンケート調査結果 要旨：（参加企業数：54社）

- ①官民連携業務（PPP/PFI事業）の参加実績は、包括的民間委託が比較的多く、コンセッションや管理・更新一体マネジメント方式は少なく、**特に実績を有する地元企業も少ない。**
- ②**本市事業には回答者の半数近く**が強い関心があり、**参加意欲も高い。**
- ③**処理場・ポンプ場の業務**の対象は、**更新支援型の希望が最も多い。**
- ④本市処理場設備で**既存事業者（導入メーカー）が異なる**ことから、全施設を対象とした**更新実施型に対して、厳しい意見**も多かった。
- ⑤**管路施設の業務**の対象は、**仕様発注が最も多かった。**管渠の老朽化が進んでおり、リスクが大きいことや、そもそも状態が見えないことから性能規定が困難とする意見が見られた。
- ⑥参入希望については、**代表企業が2社、構成企業が13社**であった。



個別ヒアリング 要旨：（参加企業数：27社）

- ①地元企業はSPCやJVの経験が少なく、**コンソーシアム形成のまとめ役が不足**している。
- ②**SPC設立には人的負担や経費が多くかかる**など課題が多く挙げられた。
- ③改めて**スキーム案や施設情報等の説明会開催の希望する**意見が複数あった。
- ④**更新支援型にCM業務を含む場合、参画企業の工事受注が困難となる**との意見が複数あった。
- ⑤**緊急対応等は地域性を考慮して地元企業の参画が必要**であるが、下請けは望んでいない。
地域のライフラインを守るための取り組みが必要との意見があった。
- ⑥物価高騰を見据えた価格設定、災害、事故、賠償等に対する**リスク分担を適切に定めてほしい**との意見が複数あった。
- ⑦10年を超える長期事業期間を望む回答は得られなかった。



白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

水の官民連携(ウォーターPPP)の今後の方針(素案)



白山市
HAKUSAN CITY



水の官民連携(ウォーターPPP)の今後の方針(素案)

地方公共団体(管理者)

民間事業者等

下水道法上の最終責任

公権力行使

モニタリング

交付金の事務手続き

計画策定(事業計画等)

災害対応

利用料金直接収受

更新(改築)の発注業務の委託

発注工事費算出(積算)

更新計画作成・測量設計

修繕計画案作成・実施

ユーティリティ調達・管理

水質管理、運転操作、保守点検

民間委託できない

基本的には民間委託になじまない

※ただし、案の作成等、協力や支援を民間委託することは可能

【基本方針】

コンセッション
方式

更新実施型

【現状の体制】

更新支援型

包括的
民間委託

レベル2.5

レベル1-3

更新支援型
※CMまで含
む場合

レベル3.5

レベル4

出典:国土交通省 下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン 第1.2版

4.1.水の官民連携(ウォーターPPP)の 対象方式(素案)

【調査結果】

- 処理場等は、**更新支援型の希望が最も多い**
- 本市の**処理場数**が他自治体より多い
- 処理場単位**で導入メーカーが異なるため、
全施設対象の**更新実施型**に厳しい意見あり



【更新実施型を選択した場合】

- 発注・受注者共に**メリットが小さい**
 - ・維持管理や修繕の改善効果が小さい
 - ・既存施設更新にノウハウを活かし難い



【基本方針】更新支援型で検討

【検討課題】

- 発注・受注者共に**メリットのある体制**の検討
 - ① CM業務の対象範囲 ②事業対象範囲
- 災害・緊急に対する体制の強化
- 更新支援型に施設更新(仕様発注)追加を検討



下水道種別単位 対象施設イメージ

更新支援型を想定

【現状の体制を維持】仕様発注を想定

(1)対象範囲

- 1)公共下水下水道
- 2)加賀沿岸流域下水道(梯川処理区関連)
- 3)犀川左岸流域下水道(犀川左岸処理区)
- 4)特定環境保全公共下水道
- 5)農業集落排水
- 6)地域下水道

2)処理場・ポンプ場施設

- ① 公共下水道 :処理場 4カ所
(し尿・浄化槽受入施設、汚泥焼却処理施設含む)
- ② 流域関連公共下水道 :ポンプ場 2カ所
- ③ 特定環境保全公共下水道 :処理場 7カ所
- ④ 農業集落排水 :処理場 21カ所
- ⑤ 地域下水道 :処理場 5カ所

(2)対象施設

1)管路施設

- ① 公共下水道 :約525km
- ② 流域関連公共下水道 :約194km
- ③ 特定環境保全公共下水道 :約52km
- ④ 農業集落排水 :約82km
- ⑤ 地域下水道 :約 9km

3)マンホールポンプ場

- ① 公共下水道 :N=156箇所
- ② 流域関連公共下水道 :N= 50箇所
- ③ 特定環境保全公共下水道 :N= 44箇所
- ④ 農業集落排水 :N= 27箇所
- ⑤ 地域下水道 :N= 7箇所

※下水道台帳システムデータ(R7年度3月末時点)より

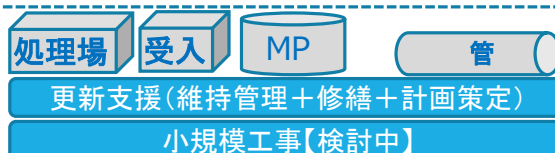
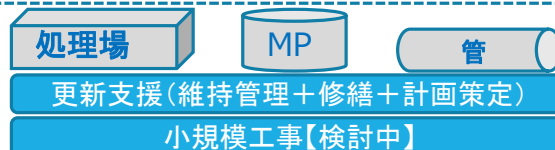
種 別	対象施設
公共下水道	管路 521 k m 処理場 4カ所 MP場 156カ所
流域関連 公共下水道	管路 191 k m ポンプ場 2カ所 MP場 50カ所
特定環境保全 公共下水道	管路 52 k m 処理場 7カ所 MP場 44カ所
農業集落排水	管路 81 k m 処理場 21カ所 MP場 27カ所
地域下水道	管路 9 k m 処理場 5カ所 MP場 7カ所

下水道処理区単位 対象施設イメージ

更新支援型を想定

【現状の体制を維持】仕様発注を想定

更新支援型を想定

松任
中央松任
西南部
(南部)

梯川

犀川
左岸

鶴来

山ろく
特環

【検討課題】

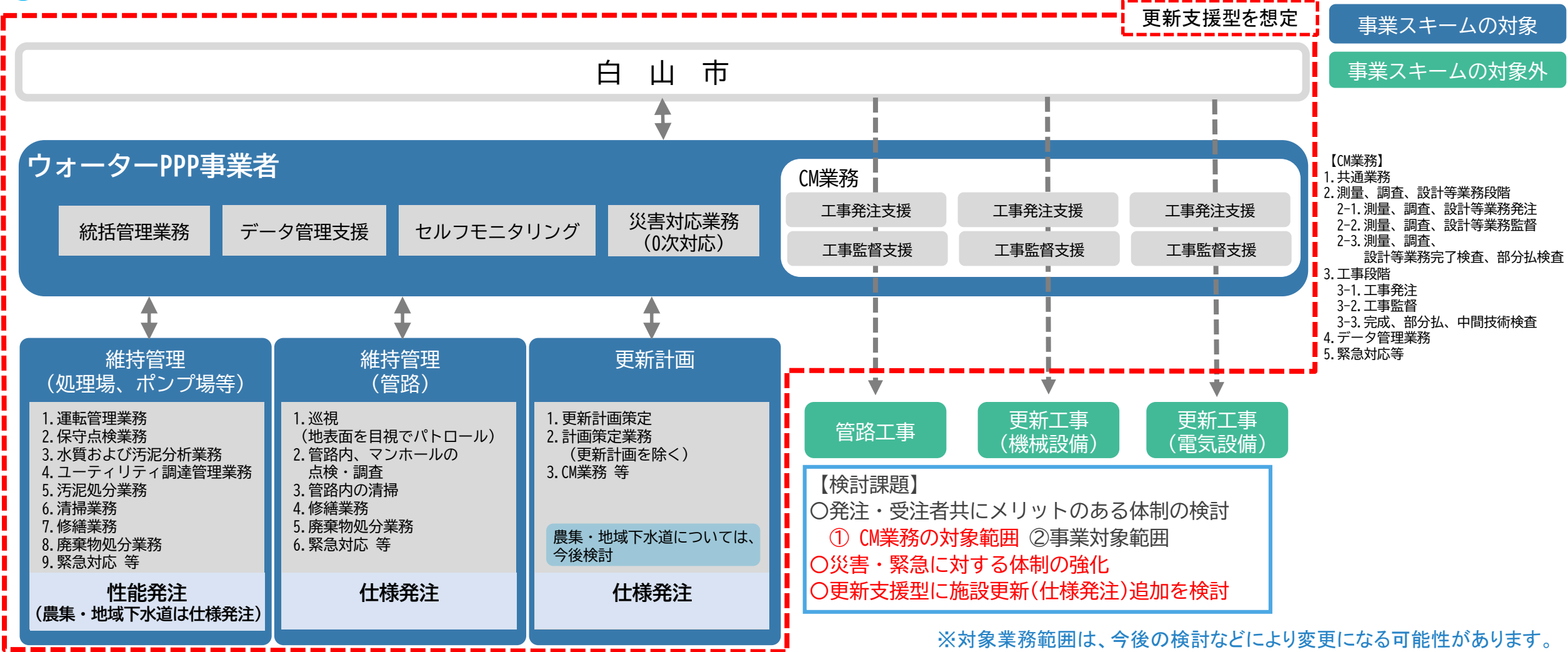
- 発注・受注者共にメリットのある体制の検討
 - ① CM業務の対象範囲 ②事業対象範囲
- 災害・緊急に対する体制の強化
- 更新支援型に施設更新(仕様発注)追加を検討

【現状の体制を維持】仕様発注を想定

松任
農集山ろく
農集
コミプラ

水の官民連携(ウォーターPPP)の今後の方針(素案)

4.3.水の官民連携(ウォーターPPP)の対象業務(素案)

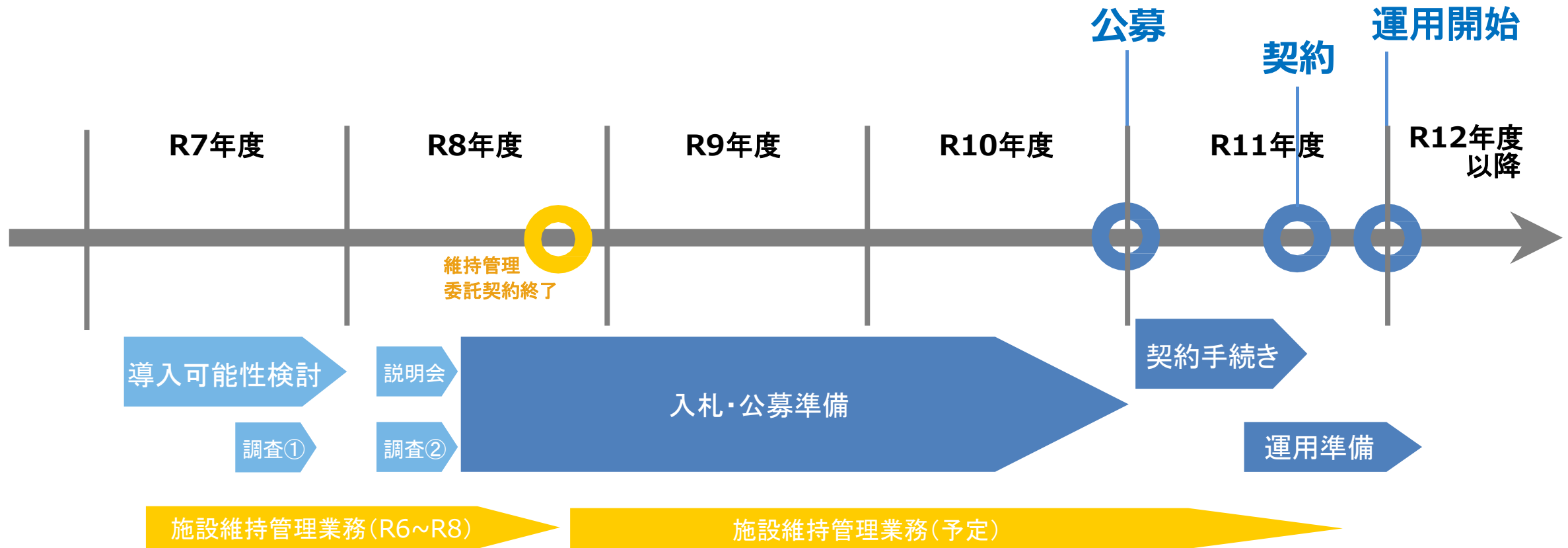


白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

今後のスケジュール(素案)



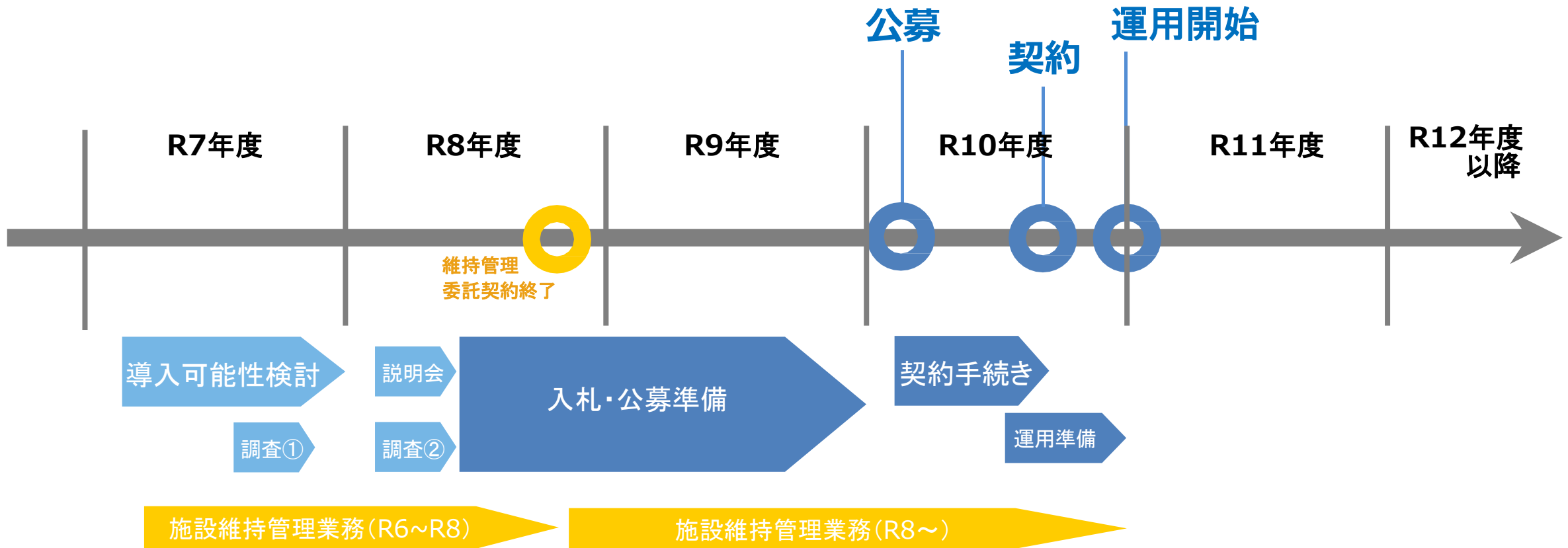
今後のスケジュール(素案) 【当初案・更新実施型】



※契約後引継期間は3ヶ月～6ヶ月程度を想定

※当スケジュールは、今後の検討などにより変更になる可能性があります。

今後のスケジュール(素案) 【更新支援型(最短)】



※契約後引継期間は3ヶ月～6ヶ月程度を想定

※当スケジュールは、更新支援型で調整等が順調に進む場合の最短スケジュールとなりますので、今後の検討などにより変更になる可能性があります。

白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

第2回サウンディング調査票の実施



第2回サウンディング調査票

第2回サウンディング調査の目的

- ◆ 今回説明した白山市下水道事業における水の官民連携（ウォーターPPP）の対象範囲等を踏まえた、本事業に対する関心・意欲、提案などを調査し、委託対象範囲及び対象業務の検討を行います。

スケジュール

項目内容	日程
アンケート調査票の配布・HP掲載	令和8年8月24日（月） 各事業者様宛にメールにて送付いたします。
アンケート調査票の提出期限	令和8年9月18日（金）午後5時まで



アンケート調査票

Microsoft Formsを使用して実施予定
説明会参加者へURLをメール送付

●アンケート調査の目的

(1)本市では、下水道事業および農業集落排水事業等の持続的な運営を目指し、民間の経営ノウハウや創意工夫を活用するため、水の官民連携「ウォーターPPP」の導入を検討しています。本アンケート調査は、本事業に対する関心・意欲、提案などを調査し、委託対象範囲及び対象業務の検討に活用することを目的としています。

●記入にあたっての説明・注意事項

- (1)帳票は、質問にしたがって「選択肢」よりご回答ください(該当欄にチェックを入れてください)。
- (2)すべての設問に自由記入欄を設けていますので、特筆すべきことがございましたらご記入ください。
- (3)今後、本市における水の官民連携(ウォーターPPP)に参画予定がない方は、ご回答の必要はありません。

【1】貴社について

1.会社名をご記入ください。

自由記入

2.回答者様の部署名をご記入ください。

自由記入

3.回答者様のご氏名をご記入ください。

自由記入

4.回答者様の連絡先(電話番号)をご記入ください。

自由記入

5.回答者様の連絡先(メールアドレス)をご記入ください。

自由記入



【2】本市における水の官民連携(ウォーターPPP)への参入意欲についてお答えください。

6.本市における水の官民連携(ウォーターPPP)に対する参入意欲についてお答えください。

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ☐ | (1)参入意欲がある |
| ☐ | (2)どちらとも言えない |
| ☐ | (3)参入意欲がない |

7.問6の回答理由を記入してください。

自由記入

8.本市で水の官民連携(ウォーターPPP)を導入した場合の参入方法についてお答えください。

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ☐ | (1)代表企業として参入したい |
| ☐ | (2)構成企業として参入したい |
| ☐ | (3)協力企業として参入したい |
| ☐ | (4)その他 |

9.問8の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入



【3】対象業務について

10.本市における水の関連連携(ウォーターPPP)の対象業務としてどう思いますか

- ☐ (1)妥当である
- ☐ (2)妥当ではない

11.問10で妥当であると回答した方について、貴社が担う予定の業務にチェックをお願いします。(複数選択可)

- ☐ (1)【維持管理】処理場・ポンプ場等の運転管理業務
- ☐ (2)【維持管理】処理場・ポンプ場等の保守点検業務
- ☐ (3)【維持管理】処理場・ポンプ場等の水質および汚泥分析業務
- ☐ (4)【維持管理】処理場・ポンプ場等のユーティリティ調達管理業務
- ☐ (5)【維持管理】処理場・ポンプ場等の汚泥処分業務
- ☐ (6)【維持管理】処理場・ポンプ場等の清掃業務
- ☐ (7)【維持管理】処理場・ポンプ場等の修繕業務
- ☐ (8)【維持管理】処理場・ポンプ場等の廃棄物処分業務
- ☐ (9)【維持管理】処理場・ポンプ場等の緊急対応
- ☐ (10)【維持管理】管路の巡視(地表面目視)
- ☐ (11)【維持管理】管路の管路内、マンホールの点検・調査
- ☐ (12)【維持管理】管路の管路内清掃
- ☐ (13)【維持管理】管路の修繕業務
- ☐ (14)【維持管理】管路の廃棄物処分業務
- ☐ (15)【維持管理】管路の緊急対応
- ☐ (16)【更新計画】更新計画策定
- ☐ (17)【更新計画】調査業務(更新計画用)
- ☐ (18)【更新計画】計画策定業務(更新計画を除く)
- ☐ (19)【更新計画】CM業務(更新詳細設計、工事発注支援、工事監督支援)
- ☐ (20)【統括管理業務】統括管理、データ管理支援、セルフモニタリング、災害対応業務(0次対応)



12.問10で妥当ではないと回答した方について、その理由などを記入してください。

自由記入

13.問11の回答の補足説明などを記入してください。

自由記入

14.問11のほか、本市における水の関連連携(ウォーターPPP)の対象業務として提案するものを選択してください(複数選択可)

☐	(1)運転管理の高度化(ICT・DX)
☐	(2)施設更新・設備管理の効率化
☐	(3)不明水・管路管理の高度化
☐	(4)水質管理の高度化
☐	(5)料金徴収・顧客サービスに関する改善
☐	(6)災害対応
☐	(7)人材確保・技術継承
☐	(8)省エネ・脱炭素化
☐	(9)経営改善・運営効率化
☐	(10)特になし
☐	(11)その他

15.問14の回答の補足説明などを記入してください。

自由記入

【4】その他

16.その他、ご意見やご質問等あれば自由に記入してください。

自由記入

回答ありがとうございました。

※回答内容については、個別にヒアリングをお願いする場合がありますので、その際はご協力をお願いいたします。

白山市下水道事業における 水の官民連携(ウォーターPPP)導入検討に係る説明会

質疑応答

- ◆ 説明全般に関する事項の質疑とさせていただきます。
- ◆ 個別のご質問等については、説明会終了後に伺います。

